



課題研究中間発表会

9月30日(金), 2年生の課題研究中間発表会が開催されました。普通科は体育館でポスター発表を, 理数科は視聴覚室でプレゼンテーション発表を行いました。



友人や1年生に「わかりやすく」説明する難しさを, それぞれ体験しました。何度もこういう経験送り返すことで, 表現力が自然についてきます。先生方も「これは何で?」という素朴な質問を投げかけます。



理数科は大学教授等を審査員に迎え, プレゼンテーションを行います。質疑応答もドキッとするようなものがありましたが, 審査員曰く「皆さん楽しそうに研究しているのが素晴らしい」とお褒めの言葉をいただきました。これから更に詳しく調べていこうと, 意欲が高まる一日でした。

SSHでの活動が本格化しています！

科学技術振興機構(JST)から提供された予算を用いて、国分高校では様々な活動が行われています。課題意識を持って、見通しを立てれば、それを資金面から援助する体制が国分高校にはできあがっています。さあ、新しい経験をみんなで模索していこう！



普通科ゴマダラ班では、九州大学にヤドリバエの専門家を訪ねました。自分たちの研究成果を披露し、アドバイスをいただきました。



宮崎県立延岡高校との交流会では、1日目に本校生徒が課題研究の発表を行い、2日目には延岡高校の授業を体験しました。同じ高校生でも意識の差があることに気づき、自分たちもがんばろうと意欲が高まる経験を得ました。

文化の秋、芸術の秋



10月24日(月)、1・2学年は弁論大会を行いました。夏休みの課題であるスピーチ原稿で校内審査を経て、各クラスの代表が熱弁を奮いました。

また、25日(火)には、午前／午後の2部制で狂言を鑑賞する芸術鑑賞会が開催されました。室町時代に完成された狂言を、昔の言葉を熱心に聞き取りながら、たまには笑いながら鑑賞しました。